

令和 2 年大磯町議会

3 月定例会一般質問（2 月 2 5 日・2 6 日）

質問議員	質 問 事 項（ 1 日 目 ）	答 弁 者
1 11 番 吉川 重雄議員 （ 80 分） 9：05～10：25	1. 税務の賦課事務における具体的な課題は何か 少子高齢化が急速に進む中で、財政の健全化は町にとって喫緊の課題である。行政を円滑に進めていく中で、特に「公平」「公正」が強く求められているのが税務の賦課事務である。 税務の賦課事務を遂行していく中で具体的な課題は何か、町長の見解を問う。 2. 行政事務は適正に行われているか 町職員は公務員としての自覚を持ちながら事務処理をしていると信じている。しかしながら、自己の体験を通して、事務処理が適正に行われているのか疑問を抱く出来事があった。 行政事務は適正に、丁寧に、緊張感を持って対応できていると言えるか、町長の見解を問う。 3. 中学校給食の進展が見えない理由は何か 中学校給食はデリバリー方式でスタートしたが、様々な問題が起こり、平成 29 年に休止になった。その後、町は「自校方式」で再開することを決めた。令和元年 12 月議会定例会に給食再開の議案を提出したが否決された。そのことを受けて、本年 1 月 22 日に福祉文教常任委員会を開いて、町に中学校給食の再開に向けた教育委員会における調査・検討状況について説明を求めた。しかし、町の説明が十分ではないまま審議が終わった。その結果、中学校給食の進展が見えない状況に至った理由は何か、町長の見解を問う。	町 長 町 長 町 長

2 9 番 二宮加寿子議員 (80 分) 10 : 40 ~ 12 : 00	1. 災害に強いまちづくりについて 町民の生命を守る災害発生時等の情報共有について、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラムにて「基盤的防災情報流通ネットワーク」が開発された。平成 31 年度から内閣府防災担当が運用している「災害時情報集約支援チーム」が本格的に始動した。被害が想定される地域や被災した現場の様々な情報を迅速に整理して電子地図上に表示されるものである。そこで以下の点について伺う。 (1) 「基盤的防災情報流通ネットワーク」の情報の共有や活用は。 (2) 地域会館や公民館、学校のホームページと災害発生時に書き込まれた避難所の電子情報を共有できるシステムは。 (3) 災害時応援協定を結んでいる業界団体と情報共有するためのスマートフォン等を活用したシステムの導入は有効と考えるかどうか。 2. 大磯的教育研究所について 本年、大磯町横溝千鶴子記念教育研究所がリニューアルオープンした。SDGs が掲げる「誰も置き去りにしない」ビジョンは生きる喜びを分かち合う社会を築く生き方とネクサス（関係）アプローチだと思う。 一貫性を持って ESD（持続可能な開発のための教育）に代表される「新しい教育」のアプローチは今後も継続して推進されていくことを期待する。 (1) 包括的に進める「ネクサス（関係）アプローチ」の大磯町の今後の目標などは。 (2) 教育長がオープニングセレモニーで話をされた 3 つの夢について具現化へ向けての体制整備の裏付けなどについて。 ①コミュニティの拠点とは。 ②スクールロイヤーの配置は。 ③教育指導対策とは。 (3) 教育研究所の環境整備は万全か。 3. 町の移動支援について 移動に不安を抱えた方への支援を伺う。 (1) 「通学」障がい者の自立支援の町の体制は。 (2) 「多胎児」の支援は。 (3) 高齢者の公共交通機関のバリアフリー化は。 (4) 町の移動支援策と都市、経済の再生に影響があるか。	町 長 町 長 教育長 町 長 教育長
---	--	--

3 5 番 清田 文雄議員 (45 分) 13 : 00～13 : 45	1. ごみ集積場所の環境整備について 昨年の決算特別委員会において8項目の審査意見を提出した中で、生活環境美化のため集積場所の環境整備の向上を図られたいとの意見が出された。ごみ集積場所の管理については、受益者負担ということで、その管理は地区住民の管理で行うものとされていることは承知はしているが、地域のコミュニティの強い地区では自分たちで管理されている所もあるが、まだまだ地区としてまとめられずに、いつも生ごみ等が散乱している所が見受けられる。みなとオアシス・明治記念大磯邸園などで観光立町を目指している当町にとって、大変見苦しいものでもあり、町のイメージダウンにもつながりかねない。 そこで、ごみ集積場所の環境整備について、現状と今後の取り組み等について質問する。 2. 防災行政無線整備事業について 現在の防災行政無線の放送については、以前より聞きづらい、台風の時など雨戸を締め切りにすると聞こえない等いろいろな苦情があり、防災ラジオなどの検討をされたが、当町では電波が町全体に届かない等の理由により採用することができないとのことだった。平成31年度当初予算で、町は防災行政無線の補完システムとして、スマートフォンのアプリやタブレットを利用しての防災行政無線放送の内容伝達手段の多様化、災害発生等緊急時における速やかな情報伝達を目的とするシステムを導入するというので約3,470万円の予算を計上し、令和2年1月23日の第3回大磯町防災ミーティングにおいて、3月9日より運用開始ということが発表された。このシステムの具体的な内容、機能、住民への周知方法について質問する。	町 長 町 長
4 3 番 竹内恵美子議員 (45 分) 14 : 00～14 : 45	1. まちづくり基本計画について まちづくり基本計画は、まちづくり条例に位置付けられた計画で市町村の都市計画に関する基本的な方針（大磯町都市マスタープラン）であり、町の土地利用計画の基本となるとともに、大磯町総合計画を支える都市づくりの基幹的な個別計画です。 現行のまちづくり基本計画については、令和2年度末（2020年）に計画期間が終了することとなっているが、昨年4月25日の総務建設常任委員会協議会において、次期まちづくり基本計画の策定方針について報告があった。また、策定スケジュール等についても説明があった。そこで伺う。 (1) まちづくり基本計画の内容について伺う。 (2) まちづくり基本計画の改定にあたり、どのような町民参画（ワークショップ、説明会等）を行っているのか伺う。 (3) 次期まちづくり基本計画の策定基本方針の計画策定の視点の中に、社会情勢や経済情勢の変化を踏まえて必要な見直しを行うと説明があったが、特に、「空き家対策」は時代とともに変わってきているが、具体的な方向性や改定の視点を伺う。	町 長

5 7 番 鈴木たまよ議員 (55 分) 15 : 00～15 : 55	1. オリンピック開催期間中における町民生活への影響及びその対策について 東京 2020 オリンピックの開催まで半年となった。大磯プリンスホテルが選手村となることで、一時的に町内への交流人口も例年より増加すると予測される。それに伴い、交通面や治安面における町民生活への影響が懸念されるが、町はどのような問題点を予測し、それに対してどのような対策を準備しているかを問う。併せて、町がホストする選手団について次の点を問う。 (1) セキュリティ対策はどのようなになっているか。 (2) 計画しているイベントの進捗状況。 2. 町が担う高麗山の役割について 町民に親しまれ、町を代表する山である高麗山は、高麗山県民の森に指定され、その維持管理は主に神奈川県にあると認識している。 しかしながら、その境界線部分は曖昧で、山の際に住んでいる町民からは問題が生じた際にどこに相談したらいいかわからないといった意見もあった。 高麗山の保全について、現在町が担っている役割と今後の関わり方について問う。	町 長 町 長
--	---	-----------------------

6 10 番 渡辺 順子議員 (80 分) 16 : 10 ~ 17 : 30	1. 町の災害時の対応について再度問う 昨年 12 月の一般質問に対する町の答弁を踏まえ再度質問するものである。 (1) 急傾斜地崩壊危険区域の安全性の確保について 大磯駅北側の一カ所が急傾斜地崩壊危険区域に指定されているが、県の管理になっており安全性については今回は正する事案はないとのことであった。しかし昨年 12 月、国土交通省は台風 19 号や豪雨によって土砂災害警戒区域に指定されていない箇所でも土砂崩れが相次いだことから、被害の状況を検証したうえで防災対策を見直していく考えを示した。町においても市街地の斜面地など県の指定を受けていない箇所での危険性を検証し、計画を見直す必要があるのではないか。 (2) 東小磯跨線橋の安全対策について 平成 24 年から行っている長寿命化修繕工事が今年度で終了し、今後 5 年ごとのストック点検で耐震対策を考えるととのことであった。長寿命化工事の基準と耐震化の違いは何か。また緊急輸送路に指定されている他の架道橋なども含めた安全対策を伺う。 (3) 指定避難所の対応について 昨年の台風 19 号においては指定避難所に自主避難した方は 606 人となり、国府小学校体育館では停電が発生したため東京電力へ早急の回復を要請したとのことであった。 これまで指定避難所では停電時の電源確保のために発電機を設置していると聞いていたが具体的にどのような状況だったのか。 2. 中学校給食について見解を問う 昨年 12 月議会で学校給食施設整備基本設計委託料が計上されたが、それ以前に基本設計の設計条件となる学校給食施設整備の基本構想や基本的な方針や考え方、施設整備基本計画を策定すべきだったのではないかと。その後令和 2 年 1 月 22 日に開催された福祉文教常任委員会においても自校方式による中学校給食施設整備に伴う基本方針(案) 7 項目が示されたのみであった。一刻も早い給食再開を望む声に応えた結果と推察するが、このような事業の進め方に疑問が残る。 また、現在町のホームページでは中学校給食についての詳細な情報提供がされていない。 デリバリー導入から概算費用約 9 億円となった大きな事業である。経過やそれに伴う資料を開示し、町民の理解を求める努力をすべきではないか。 さらに基本方針で食育や地産地消を推進している項目はあるが、給食で使用する食材の安全性についての考えは示されていない。今、EU 諸国をはじめとする世界各地で除草剤や農薬による健康被害や遺伝子組み換え、ゲノム編集された作物の危険性が問題となっている。子供たちの命と健康を守るために有機無農薬食材を使った学校給食を目指してはどうか。	町 長 町 長 教育長
---	--	-------------------------------

質問議員	質 問 事 項 (2 日 目)	答弁者
7 2 番 石川 則男議員 (80 分) 9 : 00 ~ 10 : 20	1. おおいそ福社会裁判に対する東京高等裁判所の和解案について 令和 2 年 1 月末に出された東京高等裁判所の和解案はどのような内容であったのか。	町 長
	2. 大磯港賑わい交流施設の (株) 田園プラザ川場が借り受ける面積及び賃料は妥当か 大磯港賑わい交流施設は行政財産と思うが (株) 田園プラザ川場の賃料は地方自治法 237 条の 2 項に抵触するのではないか。	町 長
	3. 消防団分団員の団員数は十分か、手当は妥当か 昨年日本が世界で一番温暖化の影響を受けた国と言われたが、今後ともその影響は続くことと考えられる。その中で消防団分団員の役割もますます大きくなることと思うが必要な団員数は確保できているのか。手当は妥当か。	町 長
	4. 中学校給食の施設建設場所・建設費の検討状況は 大磯の給食を考える会で「新 K 案」というのを聞き、なかなかよく考えていると思ったが、町として検討してはと思うがいかがか。	町 長 教育長
	5. 町立の小中学校の要望に応えているか 町立の小中学校の修理修繕や機器の購入要望に応えているか。	町 長 教育長
	6. 町民のささやかな要望にどう応えるか (1) 東町 3 丁目バス停はいつになったら安心してバスを待つことができるのか。 (2) 国府小学校体育館の照明が 32 個のうち 6 個消えていて、バドミントンの羽根が見えづらくなっているが、いつになったらつけてもらえるのか。 (3) ふれあい会館のトイレはいつになったら洋式にしてもらえるのか。	町 長 教育長

8 12 番 飯田 修司議員 (80 分) 10 : 35～11 : 55	1. 都市交通推進事業バスの運行の検証はできているのか 西部地区限定のバスの運行の検証結果、平成 24 年から運行開始に至った経緯、直近 3 年間の運行実態等、つまびらかにしてほしい。 また、今後どのように考えているのか。 2. 大型観光予算を組む根拠は何か 郷土資料館、観光費に 1 億円を使ったり、明治記念大磯邸園にも 1 億円を使おうとしているが、どのような実効を期待しているのか。 3. 大磯駅前整備計画に多くの町民は呆れているが、どのように考えているのか 平成 20 年「大磯駅周辺の安全・安心のまちづくりを求める決議」を町議会が行い、「安全・安心のまちづくりのため大磯駅周辺の道路歩道整備を求める要望書」が知事と町長に提出された。このように、駅周辺の道路の拡幅歩道整備を町民は望んでいるのである。駅前ではなく、周辺整備に変更すべきではないか。	町 長 町 長 町 長
9 6 番 吉川 諭議員 (60 分) 13 : 00～14 : 00	1. 子どもの外遊びの場をどう確保するか 社会環境の変化に伴い、子どもの「遊び」も大きく変化している。豊かな遊びが子どもの体と心の成長にとり不可欠の要素であり、のびのびと外遊びのできる環境づくりが子育てニーズにも現れている。町は現状や課題をどう捉えているのか。また、望ましい子育て環境として今後、町内公園の運営及び維持管理と方向性について伺う。 2. 中学校給食の進捗について 令和元年 12 月定例会において中学校給食基本設計費用を盛り込んだ一般会計補正予算が否決された。今後、中学校給食の再開に向けてどのように取り組むのか。	町 長 町 長 教育長
10 13 番 玉虫志保実議員 (40 分) 14 : 15～14 : 55	1. なぜ、町は「お金がないからできない」とすぐ言うのか 3 月定例会は次年度に向けての町長の施政方針とともに次年度の予算が議案として提案される。否決され暫定予算でスタートした年度もあるが、可決されないことはまれである。 しかし、9 月定例会の前年度決算審査での質問や提言が次年度予算編成に生かされているとは理解しにくい。それは、どうしてなのか。 そこで、大磯町の財政運営方針、町の「お金についての考え方」について質問する。 (1) 財政健全化比率などの数値の健全さを維持すること、毎年同じような数値にすることに重きを置いて財政運営を行っているのではない か。町民の幸福度や町民の暮らしやすさに重点を置いて財政運営を行っている と実感できない理由は。 (2) 「お金がない」なら、「ない」なりの財政運営があると考え。上手に借金をすることと、自主財源を増やすことは不可欠。町が自主財源を増やすために行っている事業や今後についての町の考えを問う。	町 長

11 15 番 柴崎 茂議員 (80 分) 15 : 10～16 : 30	1. 第五次総合計画は真実必要なのか (1) 平成 28 年 1 月から始めた「朝の子どもの居場所づくり事業」で支援員 1 人当たりの人件費をいくらかと見込んでいるか。幼稚園、保育園行政の延長線上にあるこの事業を進めるなら持続可能な考え方なのか。こんなこともできずに第五次総合計画はいらないのでは。 (2) 平場の道ではなく階段を照らす街灯に関し予算がないで町民の安全は確保できるか。こんなこともできずに第五次総合計画はいらないのでは。 (3) 消火栓は町内くまなく配置されているか。大磯町まちづくり条例によるまでもなく、町が建築を許可した住宅等は漏れなく消防水利は確保されているか。税を課し、特別な不利益を与えてないか。町民の生命・財産を守るという本旨も満足できないで第五次総合計画は必要か。 2. 神奈川新聞（1 月 29 日付）に鈴木京子議員の投稿がされているが、これについての町の見解を求める。 3. 大磯町の高齢福祉政策は町民の期待に込えているか 俗にいう団塊の世代が 10 年足らずで 80 歳台になる。このことについて、町の行政的覚悟を問う。	町 長 町 長 町 長
12 1 番 鈴木 京子議員 (80 分) 16 : 45～18 : 05	1. 「責任の所在」と「責任の取り方」について問う 「責任の所在」については、説明責任などにより明確になりつつあるが、情報提供の範囲や操作が問題になると考える。大磯町での透明性の確保は十分との認識はあるか。中学校給食の自校方式については、議会が説明不十分として設計委託料を否決したことで進まなくなるのか。認識を問う。 「責任の取り方」については、事業が破たんした場合や自治体運営が困難になった場合、誰が責任を取ることができるのか、認識を問う。 2. 第五次総合計画とまちづくり基本計画の改定による町の将来像は 町の最上位計画とされる総合計画と他の諸計画の整合性をとるとされるが、下記の点について問う。 (1) 土地利用と人口の基本的な関係の認識は。未利用地の考え方は。神奈川県との整合性は。 (2) 総合戦略の延伸による影響と利点は何か。 (3) まちづくり基本計画の改定との整合性はどのような点で必要か。 (4) 財政運営との関係をどう表すのか。 (5) 新規事業の無節操な着手につながらない保証はあるのか。必要であるにもかかわらず着手できない事業はあるのか。事業廃止の影響が出ないようになるのか。	町 長 町 長

1 2 名 3 0 問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。